

臨床工学科

臨床工学科 主任臨床工学技士 田野史晃

1 部門目標

- ・医療機器保守点検の拡充
- ・生命維持管理装置の操作における安全性の確立

2 業務体制・スタッフ

【スタッフ】令和5年度新規採用者2名が加わり合計6名体制である。

【臨床支援業務体制】

以下の業務に関して医師の指示の下、検査・治療を行っている。

- ・人工心肺業務
- ・集中治療業務
- ・新生児集中治療業務
- ・心血管カテーテル業務
- ・ペースメーカー業務
- ・不整脈治療業務
- ・ER業務

【後方支援業務体制】

院内で使用する医療機器の中央管理、生命維持管理装置等の点検を行い、使用時における機器のトラブルの低減に努めている。

夜間・休日の緊急時に関しては24時間365日院外待機にて対応、呼び出し後は医師の指示に従い臨床治療に参画している。

令和5年度では新たに新生児集中治療業務に参入、NICUへ1名担当者を配置、生命維持管理装置に関する保守・管理・点検業務を行っている。またNCPRを受講・取得し緊急対応に備えている。

3 業務実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
臨床支援			
CPB	36	42	50
ECMO	6	7	6
IABP	6	18	11
KRT	29	31	28
PCI・EVT	234	292	269
PM	45	53	64
ER対応	1432	1166	906
後方支援			
医療機器総点検件数	13433	14387	18179
輸液ポンプ	6025	5979	7764
シリンジポンプ	2991	3389	4525

4 1年間の総括

- ・ R5 年度では 2 名の新規採用者を迎え、6 名体制となった。
- ・ 新生児集中治療業務について、新生児関連の保育器や呼吸器などを中心に点検業務を開始、担当者を配置することで NICU での機器トラブルなど迅速な対応を可能とした。
- ・ 新生児に関する急変時対応を可能とするため NCPR の取得を行った。
- ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプ点検件数が R5 年度で増加しており、背景としては病床稼働率の上昇、患者使用数増加が考えられた。
- ・ 病院機能評価実施。「3-1-7 医療機器管理機能を適切に発揮している」にて A 評価を頂いた。

5 今後の目標

【業務拡充】

- ・ 新規業務である NICU 業務の充実化。
- ・ フットポンプの中央管理とし充実化を図る。
- ・ 各種点検ライセンスの取得にて点検業務の効率化・経費削減を図る。

【医療安全体制の構築】

- ・ 各業務内容のマニュアル化。標準化に努める。
- ・ 院内スタッフに向けての医療機器勉強会の積極的な開催